

# 北海道の 学校図書館

発行 北海道学校図書館協会  
 会長 新津 智哉  
 事務局長 山口 朱美  
<https://hokkaido.sla.gr.jp>  
 印刷所 (株) 有伸商会  
 TEL (011)814-6211

## 第44回全国学校図書館研究大会高松大会に参加して

### 暑さに負けない熱意。。。バトンが渡される

2026全国学校図書館研究大会札幌大会組織準備委員長

渡部 浩 士  
 (札幌市聖ミカエル幼稚園 教頭)

8月の8日と9日、香川県高松市で第44回全国学校図書館研究大会高松大会が行われました。既にひと月ほど猛暑日が続いているという、北海道とは比べものにならないサウナのような高松の暑さでしたが、それに負けない香川県SLAの方々の熱意を感じる大会でした。スタッフの皆さんの、6年ぶりの対面開催をなんとか成功させたいという強い思いが伝わってきます。会場のサンポートホール高松は高松駅の直近にあり、アクセスは抜群のところ。その上、近代的で背の高い、さらに瀬戸内の絶景を一望できる素晴らしい建物でした。

北海道SLAからも新津智哉会長以下、約10名ほど参加し、札幌大会のための視察がてら、発表や講義、司会者などの役を務めました。

1日目は開会式、全体会、記念講演と分科会ひとつ。開会式には県知事、市長も臨席。参加者の気持ちを惹きつけるご挨拶をされました。県をあげての歓迎の気持ちが伝わってきます。記念講演は、テレビや著作でも有名な脳科学者の茂木健一郎さんでした。著名人でありながら、ユーモアたっぷりの気さくなお話で会場を沸かせました。

2日目は分科会4つと閉会式。私は2日目、児童文学作家のくすのきしげのりさんの講演の司会者を仰せつかりました。

くすのきしげのりさんと言えば、『おこだでませんように』などの名作を数々発表されている、日本を代表する絵本作家さんです。四国出身のイントネーションを生かした優しい語り口で、作品の朗読も含めて絵本制作の思いや大切にしていることをお話しくださいました。作品の背景（人物設定や作品の舞台）までご自身の中で細かく設定しており、それを作品文中には書かなくとも、挿絵を読んで想像できるように作り込んであるそうです。読者の想像力を育てたいという作者の意図が伝わってきました。さらに驚きましたのは、どの作品を読んでも、一作一作じんと胸を焦がすものばかりですのに、実はほとんどの作品の登場人物が繋がっており、オムニバスになっているそうなのです。例えば、『おこだでませんように』の主人公の少年は、大人になった姿が他の絵本に登場しているのです！作り手の意識の高さを感じずにはいられませんでした。実に感動いたしました。

閉会式では、第45回札幌大会新津運営委員長が大会旗を引き継ぎ、いよいよ北海道にバトンが渡りました。2年後の8月、札幌にて全国大会が開催されます。香川県の皆さんがそうだったように、私たちも北海道の学校図書館人の総意で大会をよいものに作り上げたいと思います。第45回大会も北海道全体で盛り上げて成功させましょう！

皆様どうか、LINEの公式アカウントお友だち登録をお願いします。絆を強めて進みましょう。



第44回全国学校図書館研究大会高松大会に参加して

# 対面とWEBを合わせて45の分科会開催

北海道学校図書館協会 事務局長・山の手小学校 教頭 山口 朱 美

迫力の明石海峡大橋と大鳴門橋を越えて、大きな渦潮、穏やかな瀬戸内の海に迎えられ、香川県高松市に入りました。全国大会の会場、「サンポートホール高松」は、高松駅に隣接し、フェリーターミナルや瀬戸内海を眼下に望む恵まれた立地にありました。会場内は最大1500名を収容するプロセニウム型（劇場型）大ホール、小ホール、会議室他多機能なスペース、商業施設も入った複合型のこれ以上ないといった環境でした。

その恵まれた会場にて、8月8日・9日、2日間にわたり、第44回全国学校図書館研究大会高松大会が開催されました。まずは、1日目、開会式。そして、脳科学者 茂木健一郎氏の記念講演、午後は分科会、夕刻からは同会場、小ホールにて懇親会「学校図書館を語る夕べ」が開催されました。2日目は、分科会と閉会式。さらには、8月31日までWEB上での分科会も設定されていました。分科会数は対面とWEBを合わせて約45。コンパクトな日程ながら、WEB分科会を組み合わせることで、多様な内容とすることが可能になったといえるのではないのでしょうか。その内容は、読書センター、学習センター、情報センターとしての学校図書館の在り方、実践についての分科会。そして、近年注目を集めている、読書バリアフリーや学校図書館とICTについて話題とした分科会などなど。北海道学校図書館協会（道SLA）関係者も5分科会での発表、6分科会での司会を担当しました。

会同日程の最後、閉会式においては、次回大会の事務局、北海道学校図書館協会（道SLA）を代表して、新津札幌大会運営委員長・渡部運営事務局長が登壇し、大会旗を受け取り、挨拶を行うと共に、PR動画を上映しました。新津委員長の挨拶と、PR動画は、次回大会への期待を高め、参加の皆様からの好評を博すものとなりました。

充実した高松大会に参加し、貴重な研修の機会を得ることができました。また、いよいよ迎える次回札幌大会に向けて、意を強くするものとなりました。

第44回全国学校図書館研究大会高松大会に参加して

# 発表『国語教科書にみる情報活用能力の育成指導』

道SLA理事・全国学校図書館協議会学校図書館スーパーバイザー 佐藤 敬子

コロナ禍後初の「旅」。私には発表と司会のお仕事があたっていました。神戸経由でバスで高松まで。窓から見える美しい海。さすが四国！と思わせる旅情あふれる光景でした。

私の発表「国語科教科書にみる情報活用能力の育成指導」では、北海道SLAの研修講座「楽しく進める情報活用能力の育成指導」に参加してくださった方々と共に考えた2年間分のまとめと、そこからの考察をお話してきました。会場は立派な「小ホール」、200名近くの参加があり、たくさんの質問もいただいて気持ちよくお話しできました。2年間北海道のこの講座に参加してくださった皆さま、本当にありがとうございました。皆さまとともに講座で考えを深めていくうちに見えてきたものは大きかったように思います。今回得たものも含めて、また冬の研修講座でお知らせしますね。

暑いけれど青い海に心地よい風、初めて見るあの「屋島」（現役時代、古典の『平家物語』の指導で扱っていた「扇の的」の舞台はこの屋島だったのです！）の感動。知らずに見たきれいな島（本当は地続き）がそれだと知ったときの驚きと感動はじつに大きいものでした。

そして当地の方々の細やかな心遣いと温かいおもてなし…。開会式では県知事さんも高松市長さんも両者列席の上、すてきな話をしてくださったのには驚き、県をあげて歓迎していただいている雰囲気がよく伝わってきました。そしてなによりも、全国各地からの仲間たちと対面で会うことができる醍醐味は一入でした。

今度は私たちの番です。北海道SLAの皆さまも2026年にはぜひ札幌につどい、心をつなげて全国からやってくる仲間たちを迎えましょう。

そのためにも、日々の実践をこそ!!

北海道酪農を知り尽くした北大の小林先生による 待望の新刊 超入門書！

なぜ牛乳が余るのにバター不足になるの？  
牛のゲップと地球の温暖化の関係？  
酪農家の考える「牛に優しい飼い方」とは？  
牛と共に暮らす「酪農」を知れば、世界がわかる。  
「牛乳」が生まれる現場を歩けば、見える世界がかわる。  
食・農・環境の今を探究する最適の書。



小林国之著  
（北海道大学大学院農学研究院准教授）

酪農家になりたい君へ  
【モーターの酪農漫画】付

# 牛乳から世界がかわる

農文協 北海道支部

TEL：011-271-1471

FAX：011-261-2809

●1760円（税込）四六判 196頁 ISBN: 978-4-540-24101-7

## 第44回全国学校図書館研究大会高松大会に参加して

## 『新時代の学びを支える学校図書館』

札幌市立平岡公園小学校 司書教諭 山田佳子

前回のオンライン大会を経て、久々の対面での全国大会です。8月8・9日の2日間にわたり、香川県高松市において全国学校図書館研究大会が行われました。主題は「新時代の学びを支える学校図書館」。会場のサンポートホール高松からは、美しい瀬戸内海を見渡すことができました。10日からはオンデマンドによる分科会の配信も行われました。

今回は、初日に「司書教諭の活動～学級から全校へ～」と題して、研究発表をさせていただきました。前任校での3年間で学級担任と司書教諭の二つの立場からどのように読書活動を進めてきたかという内容です。1年生の担任として、年間100冊を超える読み聞かせと読書感想画、国語科を中心とした読書活動の充実を柱にした学級づくりを全校の活動に広げるまでの歩みをまとめる良い機会となりました。

また、司会を務めさせていただいた研究発表「子どもが育つ学校図書館～オピニオンリーダーを中心とした図書館づくり～」では、図書委員にも学校図書館の3つの機能を意識させて活動を行うことが、学びにつながる図書館づくりに有効であることを学びました。そして、「自ら学ぶ力と豊かな人間性を育む学校図書館」では、さぬき市と東かがわ市の各校の取り組みを教えていただきました。学校司書と連携した魅力的なイベントや掲示、学習を充実させるためのヒントをたくさんいただくことができました。いずれも、学校図書館を中心とした活動のアイデアの豊富さに驚くとともに、児童や教職員を巻き込んでいく行動力を見習いたいと思いました。

さらに、記念講演では、「子どもが読書することの意義」と題し、脳科学者の茂木健一郎先生のお話を伺うことができました。たくさんの書名を挙げてのお話に、うなずきながら聞く時間のなんと短いことでしょうか。これからも子どもたちが大事な一冊との出会いをすることができるように、活動していきたいという思いを強くしました。

2日間の大会中は、高松市の学校図書館関係者皆さんの温かく細やかな大会運営のおかげで、とても有意義な時間を過ごすことができました。2年後は、いよいよ札幌大会です。今回の高松大会を参考に、内容面でも、運営面でも、充実した大会になるように進めていきたいと思えます。

ほく い こう た  
北緯44度 浩太の夏

ぼくらは戦争を知らなかった

「戦争なんて  
ぜんぜん関係ないと思ってた」

北海道の西北、日本海に面する小平町。  
小学5年の浩太たちは、  
終戦直後の町で起きた悲しい事実を知る。

作 有島希音 絵 ゆの

四六判・184頁 ●定価：1,650円(税込) ●小学校高学年～一般 ISBN978-4-265-84047-2



この1冊が未来をつくる

岩崎書店

90  
YEARS

←90周年記念サイト HI・RO・BA

HPより、内容見本や動画がご覧になれます。→ <https://www.iwasakishoten.co.jp>

〒112-0014東京都文京区関口2-3-3-7F TEL 03-6626-5080 FAX 03-6626-5085

## 第44回全国学校図書館研究大会高松大会に参加して

**学校の中心に図書館が！**

札幌市立ノホロの丘小学校 司書教諭 安藤 理恵子



恵まれた天候の中、高松大会に参加してきました。全国大会に参加するのはこれで2回目になります。大会は、茂木健一郎さんによるテンポの良い講演で始まり、分科会参加、司会、自分の発表と充実した研究会でした。

分科会は山田先生のご発表、それに続く軽井沢風越学園の実践、くすのきしげのりさんのご自分の作品についての分科会に参加しました。山田先生の綿密な年間計画の資料は、全国レベルで見てもかなり参考になる資料だったのではと、改めて感じました。風越学園については、それまで全く知らなかったのこんな学校があるんだという驚きが大きかったです。幼・小・中一貫の教育、それも探求を中心とした教育を縦割りのグループで行っているというユニークな実践内容でした。公立図書館を思わせるような充実した図書館が学校の中心にあるという夢のような教育環境で、日々子どもたちが自ら考えて探求していく学びに図書館がしっかりと応えていくという様子に大変興味を惹かれました。

司会を行った分科会では、GIGAスクール構想以後、調べ学習において図書館の資料はパソコンに押され気味であるという現状の中で、改めて発達期の子どもにとっての本の良さを確認することができました。

配信の講座では、学校図書館についての最新の情報が得られると共に、「孤独のグルメ」仕立ての学校訪問ビデオが、大変こった作りで感嘆しました。

愛媛のみなさんの気配りの行き届いた運営の様子に、思わず次回の札幌大会を重ね、リサーチを兼ねながらも、やはり対面でしか得られない学びがあることを再確認した今回の高松大会参加でした。

**北海道学校図書館研究大会帯広・十勝大会まであと1年**帯広市学校公共図書館研究会 会長 鈴木 宏 和  
(帯広市立稲田小学校長)

令和7年10月24日(金)～25日(土)に帯広市立啓西小学校(主会場)と帯広市立帯広第一中学校を会場に第46回北海道学校図書館研究大会帯広・十勝大会を開催いたします。

2年以上前から、協力者を募り組織体制を構築し準備を進め、本年7月19日に運営委員会結成大会を開催することができました。今大会は、帯広市の隣町音更町で行った平成23年度第39回大会から数え14年ぶりに帯広・十勝で行われる大会となります。結成大会では、「せっかく研究大会を行うのだから、何か帯広・十勝としてチームで実践する研究の柱をもちたい！」という思いを全員で共有しました。

研究部長からは「学びの指導體系表」を基軸とした情報活用能力の系統的な指導の研究を進めていくことが提案されました。教育課程と「学びの指導體系表」の項目がリンクした計画表を作成することで、単元で育てたい情報活用能力をより意識し、指導者・学習者にとって目標が明確になった授業を展開しようという確認もなされました。

現在、「学校図書館活用教育」に関わる単元指導計画の作成を進めながら、本年9月からは小中各領域1本以上の研究授業の公開が順次始まり研究内容を深めているところです。

大会運営については、金銭面や運営面の負担を大きく軽減した、持続可能な大会のあり方を提案したいと考えています。具体的には、

- ・授業会場校を小1校、中1校の2校に集約
- ・大会日程を、第1日目の午後から第2日目の午前中と短縮
- ・開会式、全体会等の事前オンデマンド配信
- ・指導案、提言・セッションの資料、大会集録の電子化

等を考えています。これまでの大会よりもICTの活用が多くなると思いますが、どうぞご理解ください。

来帯された際には、帯広のご当地グルメ豚丼やスイーツに舌鼓をうちながら、ばんえい競馬やモール温泉もあわせて堪能していただくと地域の活性化にもつながり幸いに存じます。

来年10月、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2024年度(令和6年度) 北海道の先生がおすすめする本

# 北海道指定図書

## 小学校低学年の部(1・2年)



**あおをはっけんしたちいさなヤン**  
 みならい えかきの おはなし  
 ジャン・リュック・アングルベール/作 はしづめ ちよこ/訳  
 イマジネーション・プラス 1,870円  
 昔画は貴重な絵の具でした。偶然簡単に作る方法が発見され、青は浮世絵等にも使われました。



**いつかきつと**  
 アマンダ・ゴーマン/文 クリスチャン・ロビンソン/絵  
 さくま ゆみこ/訳 あすなる書房 1,650円  
 こまったことがあるときどうする？ どうしようもないこととあきらめないで…！ ささやかだけど力強い愛と希望の物語。



**いえ あるひせんそうが はじまった**  
 カテナ・ティホゾーラ/作 オレクサンドル・ブロードン/絵  
 すぎもと えみ/訳 汐文社 1,870円  
 ぼくはこのいえに、パパとママといぬとすんでいた。でも、あるひ…。ウクライナで続く戦争でいえをうばわれた男子の物語。



**そんなことも知らないの？**  
 パク・ジョンソプ/作 なかやま よしゆき/訳  
 フレーベル館 1,760円  
 ウソの情報にだまされてパニックのサカナたちをユーモラスに描き、フェイクニュースに動揺する社会を風刺した絵本。

## 小学校中学年の部(3・4年)



**錦鯉を創る**  
 新潟から 世界へ  
 松沢 陽士/写真・文 小学館 1,430円  
 江戸時代に誕生し、今やその美しさで世界中に愛される錦鯉。錦鯉を育み、新品種に挑戦する養鯉場に密着した写真絵本です。



**夢への扉を開け！  
町田瑠唯**  
 ベースボール・マガジン社/編  
 ベースボール・マガジン社 1,980円  
 東京五輪で銀メダルを獲得した女子バスケの立役者・町田瑠唯さんのあゆみを追いました！



**じゅげむの夏**  
 最上一平/作 マメイケダ/絵  
 佼成出版社 1,650円  
 四年生の夏休み、難病を抱える親友のために一致団結した少年たちが、いのちを謳歌する姿をみずみずしく描いた童話。

## 中学校の部



**あした、弁当を作る。**  
 ひこ・田中/著  
 講談社 1,540円  
 中学生男子の反抗期を「弁当作り」というユニークな切り口で描いた児童書。ユーモアたっぷりの反抗期の心情は必読です。



**夜空にひらく**  
 いとう みく/著 杉山 巧/装画  
 アリス館 1,760円  
 暴力事件をおこした円人は、花火師の深見の家で暮らすことに。人の優しさ、あたたかさを知り、居場所を見つけていく。

## 小学校高学年の部(5・6年)



**ぼくはうそをついた**  
 西村 すぐり/作 中島 花野/絵  
 ポプラ社 1,650円  
 戦争を、どこか遠い昔の事のように感じていたリョウタ。祖父の話をきっかけに、今も消えない原爆の傷について考えます。



**給食が教えてくれたこと**  
 「最高の献立」を作る、ぼくは学校栄養士  
 松丸 爽/著  
 くもん出版 1,540円  
 「最高においしい！」給食を作るため、壁にぶつかりながらも挑戦を続ける現役栄養士の熱血お仕事ノンフィクション。



**図書館がくれた宝物**  
 ケイト・アルバス/作 榎田 理絵/訳  
 徳間書店 2,090円  
 第二次大戦下、ロンドンから疎開した両親のいないさようだいは、親代わりにする人を求め…？ 心あたたまる物語。



## 北海道の本を読みましょう！



第70回 青少年読書感想文全道コンクール 第50回 北海道指定図書読書感想文コンクール

- 主催 / 北海道学校図書館協会・毎日新聞社北海道支社
- 後援 / 北海道・北海道議会・北海道教育委員会・公益財団法人北海道青少年育成協会
- 選定協力 / 北海道読書推進運動協議会

## 第36回読書感想画コンクール・第12回全道コンクール募集要項

- 1 主催 公益社団法人全国学校図書館協議会 毎日新聞社 北海道学校図書館協会
- 2 後援 北海道・北海道教育委員会・公益財団法人北海道青少年育成協会・北海道読書推進運動協議会・北海道国語教育連盟・北海道造形教育連盟
- 3 対象図書 (1) 自由読書(推薦「北海道青少年のための200冊」)(2) 指定読書(主催者が指定した図書)  
上記の中から本を選び、その読後感を感想画で表現する。
- 4 応募締切 2024年(令和6年)12月26日(木)
- 5 応募資格 北海道内の小学校・中学校・高等学校に在学する児童生徒  
満20歳以下に限る。(2004年4月2日以降出生)
- 6 作品規定 ※感想画用紙は、画用紙・ケント紙・キャンパスボード・マニラ紙・ボール紙いずれでも可。  
(ワク貼りキャンパスや木製パネルなど厚みのある作品は不可)  
作品の寸法は、36cm×25cm以上で、55cm×40cm以下(8つ切〜4つ切)とする。  
※画材は、クレヨン・パステル・水彩・油絵具など自由。版画・はり絵も可。  
(ただし、立体など厚みのあるものを貼付した作品及び破損しやすい作品は審査の対象としない。)  
※作品の裏面に、応募票・作画感想(200字以内)を貼付すること。(用紙は中央コンクール応募要項のものを使用) ※作画感想は原則として自筆とする。  
※募集要項に合わないもの、読んだ本にある絵をまねたもの、ポスター、映画・DVD等の場面をまねたもの、コンピュータグラフィックス(CG)の作品、盗作や不適切な引用等があった場合は審査の対象としない。作品は、個人のオリジナルで未発表の作品であること。
- 7 応募に当たって ※一人で自由読書・指定読書それぞれ各1点応募できる。  
※応募作品の著作権・出版権は主催者に帰属し、原則として作品の返却はしない。  
※作品は必ず在籍校に提出し、学校単位で応募すること。
- 8 応募先 〒060-8643 札幌市中央区北4条西6丁目1 毎日新聞北海道支社  
『第36回読書感想画コンクール・第12回全道コンクール』係  
電話011-281-5252 FAX011-251-3551
- 9 審査 主催者が委嘱した審査委員により行う。
- 10 審査区分 ①小学校低学年(1・2・3年)の部 ②小学校高学年(4・5・6年)の部  
③中学校の部 ④高等学校の部
- 11 賞 1) 個人賞 ①最優秀賞 ②優秀賞 ③優良賞 ④奨励賞  
2) 学校賞〜上記の①②③を受賞した児童生徒の在籍校の中で優秀と認められる学校  
※各部上位各4点(自由2点・指定2点)、合計16点を北海道代表作品として中央コンクールに提出する。  
※入賞発表は、毎日新聞紙面にて行う。(2月上旬予定)

	◎指定図書(書名)	著者名	出版社	定価(税込)
小学校 低学年	まほうのabraカタブレット	如月かずさ(作) イシヤマアズサ(絵)	PHP 研究所	1,430円
	アケチと天のじゃがいも畑:ペルーのむかしばなし	宇野 和美(文) 飯野 和好(絵)	B L 出版	1,980円
	こっちにおいでよ、ちびトラ	キルステン・ハパート(文) スーザン・ギャル(絵) 長友 恵子(訳)	徳間書店	1,870円
	ネコになりたかったクモのルイーゼ	ミシェル・ヌードセン(さく) ケビン・ホークス(え) 福本 友美子(やく)	岩崎書店	1,870円
小学校 高学年	すごいぞ!クモの探偵団	谷本 雄治(作) 羽尻 利門(絵)	あかね書房	1,430円
	直紀とふしぎな庭	山下 みゆき(作) もなか(絵)	静山社	1,485円
	アオナギの巣立つ森では	にしがき ようこ(作)	小峰書店	1,760円
	ブラックバードの歌	カチャ・バーレン(著) 千葉 茂樹(訳)	あすなる書房	1,650円
中学校 ・ 高等学校	夜空にひらく	いとう みく(著)	アリス館	1,760円
	リラの花咲くけものみち	藤岡 陽子(著)	光文社	1,870円
	死の森の犬たち	アンソニー・マゴーワン(作) 尾崎 愛子(訳)	岩波書店	2,200円
	レッドリスト・プラネット:野生生物を守り、地球を救うために	アンナ・クレイボーン(作) 大山 泉(訳)	評論社	2,420円
深海ロボット、南極へ行く:極地探査に挑んだ工学者の700日	後藤 慎平(著)	太郎次郎社エディタス	2,090円	

# 第57回北海道学校図書館研修講座へのご案内

主催	●北海道学校図書館協会	参加資格	●学校図書館及び読書指導・情報活用能力の育成に関わっている方ならどなたでも参加できます。
後援	●北海道教育委員会 札幌市教育委員会	定員	●150名 ※定員のある選択講座は先着順で受付します。
趣旨	●学校図書館の運営及び情報活用能力の育成、並びに読書指導に関する基本的事項について理解を深めるとともに、学校図書館の目指す方向と役割についての見識を深め、学校図書館の機能の向上を図ることを目的とします。	参加費	●3,500円 ※A 共通講座「講演」のみ参加 1000円、1日のみ参加 2000円
日時	●2025 (令和7) 年1月7日 (火)～8日 (水)	参加申込	●参加ご希望の方は、12月1日 (日)～18日 (水)の期間に、イベント申し込みサービスPeatixでお申し込みください。
会場	●北海道立道民活動センター (かでの2・7) 札幌市中央区北2条西7丁目 ☎ (011) 204-5100 ●札幌聖心女子学院中学校・高等学校 札幌市中央区宮の森2条16丁目10番1号 ☎ (011) 611-9231	URL	● <a href="https://57douslakensyu.peatix.com">https://57douslakensyu.peatix.com</a>
			●さらに詳しい内容は、別紙の開催要項案内(11月下旬に本会ホームページにも掲載)をご覧ください。



## A. 共通講座

### 講演 「GIGAスクール時代の学校図書館～ベストミックスによる機能強化と学びの充実～」

全国学校図書館協議会 理事長 専修大学文学部 教授 野口 武 悟 氏

## B. 選択講座

### 1. 講義 「学校図書館BASIC～管理運営の基本～」

札幌市立ノホロの丘小学校 教諭 安藤 理恵子 氏

### 2. 講義・実習 「つくって楽しむアニメーション」

北海道教育大学 札幌・岩見沢校 非常勤講師 佐藤 広也 氏

### 3. 講義・実習 「レファレンスの基本」

札幌聖心女子学院中学校・高等学校 司書 新田 裕子 氏

### 4. 講義・実習 「楽しく進める情報活用能力の育成指導」

全国学校図書館協議会学校図書館スーパーバイザー 佐藤 敬子 氏

### 5. 交流 「読む気にさせる！仕掛けづくり」

札幌市立光陽中学校・星置中学校 学校司書 浅村 麻姫子 氏

### 6. 講義 「学校図書館と著作権」

元東京学芸大こども未来研究所 教育支援フェロー 原 口 直 氏

## C. 選択講座：実践討議

### 1. 討議 「図書館メディアの活用とその指導～小学校」

沼田町立沼田小学校 司書教諭 森下 和樹 氏

### 2. 討議 「図書館メディアの活用とその指導～中学校・高等学校」

遠軽町立丸瀬布中学校 司書教諭 武井 翔 氏

### 3. 討議 「図書館メディアの活用とその指導～特別支援」

北海道あいの里高等支援学校 教諭 林 麻弥 氏

## D. 指導者研修講座 (第62回全道研究部長会)

### 1. 第46回北海道学校図書館研究大会 帯広・十勝大会 に向けて

2. 支部研究交流 各支部研究部長

北海道学校図書館協会研究部長 山田 佳子 (札幌市立平岡公園小学校 司書教諭)

北海道学校図書館協会事務局長 山口 朱美 (札幌市立山の手小学校 教頭)

## ～研修日程～

### 1月7日(火)〈かでの2・7、札幌聖心女子学院〉

9:30 10:00 10:25 12:00 13:15 13:30 15:45 16:00 18:00 20:00

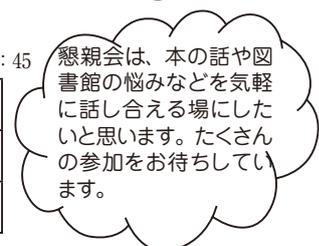
受付	開講式	A. 講演	昼食	B 1. 学校図書館BASIC		懇親会
				B 2. アニメーション		
				B 3. レファレンスの基本(札幌聖心女子学院)		
				D 1. 研究部長会		

※受付は4F大会議室で行います。直接お越しください。※7日午後以降の本部は、10階1050会議室です。

### 1月8日(水)〈かでの2・7〉

9:30 12:00 13:15 15:25 15:45

B 4. 情報活用能力の育成	昼食	C 1. 討議〈小〉	閉講式
B 5. 仕掛けづくり		C 2. 討議〈中・高〉	閉講式
B 6. 学校図書館と著作権		C 3. 討議〈特別支援〉	閉講式
D 2. 研究部長会			



懇親会は、本の話や図書館の悩みなどを気軽に話し合える場になりたいと思います。たくさんの方の参加をお待ちしています。

できるだけ、メール、またはFAXでの問い合わせにご協力ください。  
問い合わせ先 浅村 麻姫子 メールアドレス: hokkaidosla2021@gmail.com  
FAX: 011-763-0192 (札幌市立光陽中学校)

## 学校図書館情報

### ■第78回読書週間 [公益社団法人読書推進協議会]



今年度の標語は、「この一行に逢いにきた」です。標語の作者である中山実穂さん(講談社)は、「本の中にグッとくる一行があって、何度も何度も目でなぞり、ついには暗記してしまう。作者はこの一行のためにこの本を書いて、読者はこの一行に出逢うために読んでいるのだと思うとき、幸福になる自分があります。」と述べています。

また、ポスターの作者 熊梨江さんのお仕事は、なんと!! 司書さんです。「ページをめくってたどり着いた一行は、心を豊かにしてくれます。感動したり学んだり、どこでも誰でもいつだって読書は成長の糧です。」と述べています。

この読書週間に機に、不読も多いと言われる現代にあっても、「グッとくる一行」「たどり着いた一行」を見つけたら機会となるような読書を、改めて子どもたちに広げていきたいものです。

### ■読書感想文コンクール・中学生作文コンクールの審査が行われています

両審査に関わり、各支部の審査員の皆様にはご尽力いただきましてありがとうございます。中学生作文コンクールでは、今年度のテーマ「20××年 何してる」を中学生がどの様に表現しているのか期待しています。そして、各表彰式にて、子どもたちの晴れやかな姿に立ち会えることを楽しみにしています。

### ■第36回読書感想画コンクール・第12回全道コンクール →募集締切12月26日(木)

全道の小中高等学校・特別支援学校に向けて要項を送りました。学校関係者の皆様には、応募への働きかけをお願いいたします。また、その際には、「自由読書」に令和6年度「北海道青少年のための200冊」を是非お薦めくださるようお願いいたします。

### ■第43回北海道図書館大会

9月12日・13日に札幌コンベンションセンターで開催されました。北海道学校図書館協会が担当した第1プログラムでは、「図書館とコミュニティ」と題して、加藤重男氏に講演をお願いしました。北海道各地の図書館と、その地域とのつながりなどについて、たくさんお話くださいました。

■ホームページのトップにある、「学校図書館活用データベース」には、今すぐ使える授業事例の他「使いこなす情報のチカラ」「使えるブックリスト」等のコーナーがあります。是非ご利用ください。

## 事務局

事務局長 山口 朱美 (札幌市立山の手小学校教頭)  
事務局校 札幌市立山の手小学校  
〒063-0835 札幌市西区山の手5条6丁目1-1  
TEL 011-621-0439 FAX 011-613-1957

## Amenity B-Coat

本の破損や汚れを防ぎながら、抗菌効果を発揮するブックカバー「アメニティBコート」ポリプロピレンフィルムのため、燃焼時にも塩素ガスなど有害物質が発生せず、安心です。ご指定の上ご愛用下さい。

### キハラ株式会社

〒062-0035 札幌市豊平区西岡5条3丁目8-15  
TEL (011) 857-3331  
FAX (011) 857-5211

### ◆新刊紹介

#### 『ぞうのうんちはまわる』

重松 彌佐(文)

しろべこり(絵)

発行: 新日本出版社

価格 1,540円(税込)

初版年月日 2024年6月30日

ISBN 978-4-406-06789-8



これは札幌市円山動物園。人気者はマンマーからきた4頭のアジアぞうと夏にうまれた赤ちゃんぞうだ。1日のうんちの量は4頭でなんと400キロ。動物園ではこのうんちを堆肥にかえている。園内には緑が青あおと茂り、野菜が育つ。野菜は動物たちのえさになる。これが動物園のSDGs。

## 編集後記

第44回全国学校図書館研究大会高松大会は、盛会のうちに幕を閉じました。

2018年富山・高岡大会を最後に、新型コロナウイルス対応のため、誌上大会となった2020年の高松大会、オンライン大会となった2022年大会と、対面での開催が見送られてきました。今回は、実に6年ぶりとなる会合での大会となりました。その間に、オンラインでの開催やWEB上での発表など、新しい手法を得ることはできました。

次回、2年後、45回札幌大会は、「集うは力」を合言葉に、さらに多くの皆様と交流し、懇親を深める大会となることを目指しています。北海道の力を総結集して大会を成功させましょう。

(編集: 村山 知成 野村 邦重)  
大久保 雅人 山口 朱美)

ホームページアドレス

<https://hokkaido.sla.gr.jp>